

授業科目

保健体育科教育法I

担当教員名 埜 佐敏、高田 大輔	対象学年	2	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			○

授業の概要

本授業は、これまで生徒の立場で受けてきた体育の授業が、どのような根拠に基づいて行われているかの概略を理解していきます。授業の流れは大きく3つあります。まず、現在の体育の授業は何を目標として、どんな生徒の育成を目指すのかを考えていきます。そのために、戦後から現在に至るまでの社会の変遷に伴う、学習指導要領の変化について学びます。2つ目は、これからの体育の授業は何を目指すのかについて、新学習指導要領での重点事項について学びます。そして3つ目は、学校で作成する年間指導計画の作成を行います。

授業の目的

体育の授業は、文部科学省が示す「学習指導要領」に基づいて行われます。本授業は教員免許状取得のための要件の一つであることから、学習指導要領の概略を理解すること及び新学習指導要領の目指すべき方向性について理解することを目的としています。それによって、授業でどんなことを指導するのかについて理解してもらいます。また、教育は意図的・計画的な営みであることから、「年間指導計画」の作成を通して、学校の教育計画について理解することも目的としています。

学習目標

- (1) 戦後から現在までの社会の変化に伴う学習指導要領の変遷について説明できる。
- (2) 現行学習指導要領の趣旨や目的、評価法について説明できる。
- (3) 新学習指導要領の目指す方向性について述べることができる。
- (3) 学習指導要領に示されている運動領域の特徴を述べることができる。
- (4) 学習指導要領の趣旨を理解し、年間指導計画を作成できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション。戦後の学習指導要領の変遷	講義	埜 佐敏、高田 大輔
2	戦後の学習指導要領の変遷と体育科教育の変遷	講義	埜 佐敏、高田 大輔
3	新しい体育の方向（新学習指導要領の目指す方向性と改善の重点事項）	講義	埜 佐敏、高田 大輔
4	学習指導要領総則と体育	講義	埜 佐敏、高田 大輔
5	体育の学習指導と評価	講義	埜 佐敏、高田 大輔
6	体づくり運動 - 他の運動運動領域と何が違うのか	講義	埜 佐敏、高田 大輔
7	器械運動 - どんな運動感覚や技能を身に付けさせようとしているのか	講義	埜 佐敏、高田 大輔
8	陸上競技 - 競争だけでなく楽しみ方はどうすればよいのか	講義	埜 佐敏、高田 大輔
9	水泳 - どんな泳法で、どのくらい泳ぐことを目指すのか	講義	埜 佐敏、高田 大輔
10	球技 - 何を学ぶのか	講義	埜 佐敏、高田 大輔
11	武道 - 安全への配慮はどうすればよいのか	講義	埜 佐敏、高田 大輔
12	ダンス、体育理論 - どんな内容で構成されているのか	講義	埜 佐敏、高田 大輔
13	年間指導計画について - 年間指導計画とは何か、なぜ必要なのか	講義、個人作業	埜 佐敏、高田 大輔

14	年間指導計画の作成	講義、個人作業	埜 佐敏、高田 大 輔
15	学校における部活動 – 学校教育における部活動の意義と現状・課題は何か まとめ	講義	埜 佐敏、高田 大 輔

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	中学校学習指導要領解説（保健体育編）	文部科学省	東山書房	2008年	368円＋税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

試験、課題、口頭発表

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

hanawa@nuhw.ac.jp